



伝承の力 古典の現在いま

藤本昭子の地歌

演目
尾上の松
影法師
出口の柳
根曳の松

歌の表現と三弦（三味線）の音色を探索し、
地歌箏曲の未来を照らした藤本昭子の地歌の世界。
人間国宝鶴澤津賀寿、岡村慎太郎、藤原道山の
実力派三人の助演を得て古典の魅力が体現します。



出演

藤本昭子(三弦)

鶴澤津賀寿(義太夫三味線・人間国宝)

岡村慎太郎(箏)

藤原道山(尺八)



主催：静岡音楽館AOI 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団

特別協賛： せいしん
静岡信用金庫

協賛： アイワグループ

studio
FORUM
HOUSE & SHOP DESIGN

静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2024

1/27

土

15:00 開演 (14:15 開場)

静岡音楽館AOIホール(8F)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

22歳以下
¥1,000

歌の表現と三弦(三味線)の音色を探求し、地歌箏曲の新たな地平を照らし出す

地歌は、江戸時代初期に京都、大坂で生まれ、江戸歌に対する「この土地の歌」として「地歌」と呼ばれました。藤本昭子さんが祖母 阿部桂子さん、母 藤井久仁江さんから教えた古典地歌箏曲は、京坂の地を故郷とする地歌が、優れた^{けんごう}検校や^{こしょう}勾当たちによって九州に伝えられ、その地で技法や唱法が磨かれ、楽器の改良も行われたもので「九州系地歌箏曲」の系譜を継いでいます。

近年の「地歌ライブ」の活動は、一年に五回のハイペースで二十年間にわたり百回まで到達した前人未踏の偉業でしたが、現代においても色褪せることのない古典ならではの魅力を支える「伝承の力」、これから未来に向かう指標となり座標ともなる「古典の現在」を新たなテーマとして活動が再開されています。三代にわたって古典の魅力を継承するDNAが確固として体内に蓄えられている藤本昭子さんの歩みは、何にも動じることなく一刻の停滞も感じさせません。身体そのものが楽器となる歌の表現と三弦(三味線)の音色を探求し、地歌箏曲の古典の継承と普及をとおしてさらに未来を明るく照らし出しています。

田村博巳 (演出家、静岡音楽館AOI企画会議委員)



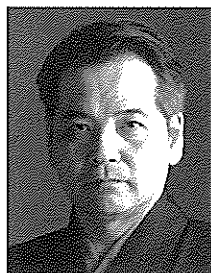
藤本昭子 (三弦)
Akiko FUJIMOTO (Sangen)

幼少より祖母 阿部桂子、母 藤井久仁江(人間国宝)に箏・三弦の手ほどきを受ける。1995年、第1回リサイタル開催(全17回開催)。2001年、伝統の継承と古典の新たな可能性を追求する場として「地歌ライブ」開始(全100回開催)。2003年、日本伝統文化振興財団賞受賞、CDアルバム制作。2004年、文化庁芸術祭新人賞受賞。2006年、シティ・オブ・ロンドンフェスティバルの招聘による「藤井昭子地歌演奏会」をロンドンで開催。以後2020年まで海外公演を多数行う。2008年、全英語解説による「JIUTA」公演を開催(全6回開催)。同年、伝統文化ボーラ賞奨励賞受賞。2010年、「地歌ライブ」第50回記念公演開催、CDアルバム制作。2011年、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2019年、古典の新たな創造を目指し、高橋翠秋、鶴澤津賀寿、善養寺恵介と「SATZ」結成。2020年、CDアルバム「雪曇」リリース。YouTubeチャンネルを開設し、現在まで100本を超えるライブ映像を公開。2021年、第17回「藤本昭子演奏会」が文化庁芸術祭音楽部門大賞、企画・制作・主演CD「雪曇」がレコード部門大賞を同時受賞。芸術選奨文部科学大臣賞、松尾芸能賞優秀賞受賞。CDアルバム「地歌のいろは」、「百年の時を超えて魅惑の音色」、「第十七回藤本昭子演奏会「残月・八重衣」」3タイトルを連続発売。同年、紫綬褒章受章。2022年、CDアルバム「地歌のいろは」が文化庁芸術祭レコード部門大賞を2年連続受賞。「伝承の力 古典の現在」と題する新たなシリーズ公演を開始。現在、九州系地歌箏曲家として演奏会・放送等に出演の他、後進の指導に当たっている。(公財)日本伝統文化振興財団理事。(公社)日本三曲協会、箏曲女流協会会員。正派音楽院講師。「藤本昭子の会」代表。



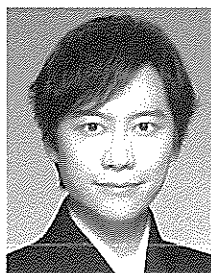
鶴澤津賀寿 (義太夫三味線・人間国宝)
Tsugaju TSURUSAWA (Gidayu Shamisen)

東京都出身。1980年3月、早稲田大学第二文学部演劇専攻卒業。84年1月、竹本駒之助に入門。三味線を四代目野沢錦糸に師事。86年5月、駒之助の義母鶴澤三生の幼名津賀寿を継ぎ、本牧亭にて初舞台。鶴澤重輝の預かり弟子となる。1991年度、芸団協助成新人奨励賞、95年度、第11回豊澤仙廣賞、96年度、第47回芸術選奨文部大臣新人賞(古典芸術部門)、97年度、第11回財団法人清栄会奨励賞、99年度、第4回ビクター伝統文化振興財団賞「奨励賞」、2009年、重要無形文化財(義太夫節)総合指定保持者認定。義太夫節保存会会員。2018年度、第7回中島勝祐創作賞、2022年、第52回ENEOS音楽賞(邦楽部門)受賞、重要無形文化財指定保持者認定(義太夫節三味線)。



岡村慎太郎 (箏)
Shintaro OKAMURA (Koto)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。在学時、宮中桃華楽堂にて御前演奏。東京藝術大学推薦による奏楽堂デビューコンサート「岡村慎太郎リサイタル」を開催。三味線組歌、箏組歌を菊松松雨師に師事、尚巻伝授。文化庁新進芸術家国内研修制度研修生。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員(2006~07年度)。NHK邦楽オーディション合格。第34回宮城会箏曲コンクール1位、第6回賢順記念箏曲コンクール奨励賞、第7回「静岡の名手たち」オーディション合格、第22回くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞受賞。タイ、フランス、スペイン、中国、イタリアなどの公演に参加。現在、NHK文化センター講師、上智大学箏曲部講師。



藤原道山 (尺八)
Dozan FUJIWARA (Shakuhachi)

人間国宝 初代山本邦山に師事。東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。安宅賞、江戸川区文化功績賞、松尾芸能賞新人賞、台湾・金曲獎 最優秀編曲賞を受賞。令和2年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。これまでにCD、映像作品等多数リリース。イベント制作、マリンバ奏者 SINSKEとのデュオ、ピアノ、チェロとの「KOBUDO 古武道」、尺八アンサンブル「風雅竹韻」などのユニット活動。舞台音楽、メディア出演など精力的な活動を展開。小学及び中学音楽教科書(教育芸術社)の執筆及び出演、後進の育成など普及・教育活動にも力を注ぐ。現在、公益財団法人都山流尺八楽会所属大師範。日本三曲協会会員。東京藝術大学音楽学部准教授。公式ホームページ <https://www.dozan.jp>

静岡音楽館AOI公式SNS



静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)

Tel.054-251-2200(月休)

- * 受付時間9:00~21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 各種クレジットカード、バーコード決済、電子マネー(一部除外あり)でお支払いいただけます。
- * 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いします。

静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231(土・日・祝休)

チケットぴあ(Pコード: 224-478) <https://t.pia.jp>

* セブンイレブン(一部地域・店舗を除く)。

一般発売 10月14日[土]より 会員先行発売 10月7日[土]より

次のごことを予めご了承の上、チケットをお求めください。皆様のご理解・ご協力を願っています。

- ※価格は税込です。
- ※都合により内容を変更する場合があります。
- ※お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更はお受けできません。
- ※演奏中のご入場、および他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- ※未就学児はご入場いただけません。
- ※託児サービスはございません。

開場時の諸注意

- ※8階ホールへのエレベーターの運行は、開場時間以降となります。
- ※開場時は1階エレベーター前でお待ちの方を優先してご案内いたします。
- ※地下からご来場のお客様も、一旦1階にて列にお並びください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左
静岡中央郵便局合同建物内



*当館専用の駐車場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!
CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

開館 9:00~21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL. 054-251-2200

静岡音楽館AOI

検索

